

水・大気環境局土壌環境課

1．事業の概要

今後、PCBを含む変圧器等の処理が本格化することに伴い、これまでPCB廃棄物を保管していた場所においてPCB汚染土壌の存在が、全国各地で顕在化する可能性がある。このため、PCB汚染土壌への対策が円滑に推進されるよう、PCB汚染土壌の調査・対策手法をとりまとめたガイドラインの作成を行う。

2．事業計画

実際にPCB廃棄物を保管している場所における漏洩PCBの発生状況、地下への浸透状況等の実態を調査する。

実態調査結果をもとに、土壌中での漏洩PCBの拡散挙動、想定すべき土壌汚染の存在状況などの情報を整理し、実態に適応した調査・対策方法を検討し、ガイドラインにとりまとめる。

上記とあわせて、過去に実施したPCB汚染土壌浄化技術実証調査の結果を集成し、具体的な汚染土壌浄化技術を用いた対策手法についても検討し、ガイドラインにとりまとめる。

3．事業年度 平成19年度～平成20年度

4．施策の効果

本ガイドラインを参考に、現地の状況に応じた調査・対策が適切に実施されることにより、今後、全国各地で顕在化する可能性があるPCB汚染土壌対策が円滑に推進される。

PCB汚染土壌対策ガイドライン策定調査

PCBを含む変圧器等の処理が本格化
PCB廃棄物保管場所でのPCB汚染土壌の顕在化の可能性

PCB汚染土壌の調査・対策方法をとりとまとめたガイドラインを作成

実態調査結果等をもとに調査方法の検討

具体的な浄化手法も含む対策方法の検討

【策定期間】平成19年度～平成20年度

PCB汚染土壌浄化技術実証調査
(H17～H18実施)結果の集成

II

・分かりやすい汚染土壌浄化技術集
の作成、普及・啓発等

実際のPCB廃棄物保管場所での
PCB汚染土壌存在状況の実態調査

II

・想定すべき土壌汚染の存在状況
・PCBの土壌での拡散挙動等